

社会福祉法人かるべの郷福祉会

令和2年度事業報告



社会福祉法人 かるべの郷福祉会

	事業所名	事業種別	住所	定員	頁
	本部拠点区分				
	法人本部		兵庫県養父市十二所 871		1P
シ ニ ア	あじさい拠点区分				
	養護老人ホームかるべの郷あじさい	特定入居者生活介護	兵庫県養父市十二所 871	50 名	6P
	さざんか拠点区分				
	特別養護老人ホームかるべの郷さざんか	老人福祉施設	兵庫県養父市十二所 871	50 名	9P
	かるべの郷さざんか短期入所生活介護事業所	短期入所（介護予防を含む） 短期入所（障がい）	兵庫県養父市十二所 871	13 名	
	かるべの郷デイサービスセンター	通所介護 通所型介護予防サービス 基準該当生活介護（障がい）	兵庫県養父市十二所 871	60 名	14P
	かるべの郷花笑み倶楽部	通所型生活機能向上サービス	兵庫県養父市十二所 871	15 名	18P
	KARUBE・GARDEN LIVING ・かるべの郷短期入所生活介護事業所 ・かるべの郷認知症対応型共同生活介護事業所	短期入所（介護予防を含む） 認知症対応型共同生活介護 （介護予防を含む）	兵庫県養父市十二所 906-1	20 名 18 名	19P 21P
	介護職員の養成等事業 ・かるべの郷実務者研修 ・かるべの郷喀痰吸引等研修		兵庫県養父市十二所 871	15 名 10 名	23P
	ドリームワークス拠点区分				
ホ ー ム ケ ア	かるべの郷居宅介護支援事業所	居宅介護支援	兵庫県養父市上箇 153-1		24P
	高齢者相談センターやぶ	（養父市の委託事業）	兵庫県養父市上箇 153-1		27P
	高齢者相談センターようか	（養父市の委託事業）	兵庫県養父市八鹿町八鹿 1576		29P
	相談センターpolaris	（養父市の委託事業）	兵庫県養父市八鹿町八鹿 1576		31P
	かるべの郷ホームヘルパーステーション	訪問介護 訪問型介護予防サービス 訪問型生活機能向上サービス 居宅介護・重度訪問介護・同行援護（障がい）	兵庫県養父市広谷 83		34P
チ ヤ レ ン ジ ド	かるべの郷ドリームワークス	就労継続支援 B 型	兵庫県養父市広谷 83	55 名	36P
	かるべの郷ドリーム相談所	一般相談（地域移行・地域定着） 特定相談（計画相談）	兵庫県養父市広谷 83		38P
	かるべの郷ドリームブリッジ	自立生活援助	兵庫県養父市広谷 83		42P
	かるべの郷グループホーム夢一	共同生活援助	兵庫県養父市上箇 438-1 兵庫県養父市上箇 438-1 兵庫県養父市上野 1347 B207 兵庫県養父市広谷字下町 115	8 名 10 名 1 名 7 名	43P
	かるべの郷多機能型事業所ドリームスペース	就労継続支援 B 型 生活介護	兵庫県養父市八鹿町八鹿 1576	14 名 6 名	45P
	かるべの郷放課後等デイサービス	放課後等デイサービス	兵庫県養父市八鹿町八鹿 1576	10 名	47P

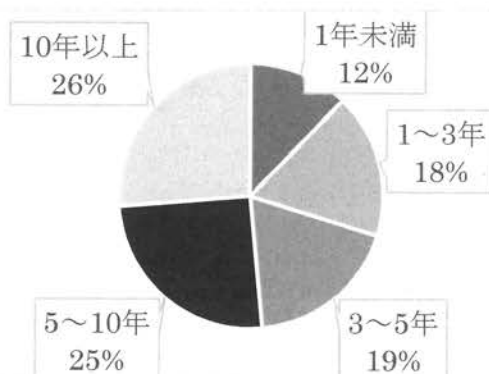
令和2年度 社会福祉法人かるべの郷福祉会法人事業報告

I. 令和2年度の主な事業

- ・新卒職員2名を含め30名の職員を採用した。退職者は20名であり、職員数は198名となった
- ・経営組織のガバナンス（統治）の強化と公益性の担保のため、評議員会・理事会を開催し、法令順守に努めた
- ・地域との共生と人材育成を意識し、地域社会に貢献できるよう様々な事業に取り組んだ。
- ・変更したキャリアアップ制度に基づき定期的な評価と面接を実施し、個々の職員の目標を明確にした
- ・各事業所が毎月の収入を入力し、自分たちの経営状況の把握に努めた。経営状況の改善と他部署の状況を理解するため、経営会議を開催した
- ・船井総研の力を借りて業務改善と改修に取り組み、かるべの郷デイサービスセンターの機能訓練を充実させることができ、お客様の評判も上々であった
- ・10月にかるべの郷グループホーム夢三の定員を7名に増員した
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組んだ
- ・感染対策のため、各部署で感染者発生の際にどう協力するか、対応者は誰が行うか、シミュレーションを検討した（R2.12.22 及び R3.01.19）
- ・障害者雇用について
常勤の介護支援員1名及びピアサポーター5名を雇用している。
- ・男女共同参画社会の推進について

	男性職員	女性職員
全体の人数	47 人	151 人
正規職員	25 人 (53.2%)	60 人 (39.7%)
主任以上の役職者	6 人 (12.8%)	14 人 (9.3%)
60歳以上の人数	14 人 (29.8%)	53 人 (36.1%)

- ・勤続年数について



II. 概要

1. 組織

(1) 理事会・評議員会

理事 定員 6 名 評議員 定員 7 名 監事 定員 2 名

(2) 理事会・評議員会開催状況

令和 2 年度理事会

	開催日	議案
第 1 回	令和 2 年 6 月 4 日	1. 社会福祉法人かるべの郷福社会令和元年度事業報告（案）について 2. 社会福祉法人かるべの郷福社会令和元年度決算報告（案）について 3. 評議員選任・解任委員の選任について 4. 定時評議員会の日時・場所・議案について 報告事項：理事長の職務の執行の状況
第 2 回	令和 2 年 12 月 17 日	1. 高齢者福祉施設等防災緊急対策事業について 2. 資金の借入れについて 3. かるべの郷ドリームワークスの養蚕事業について 4. 第三者委員の選任について 報告事項：理事長の職務の執行の状況
第 3 回	令和 3 年 3 月 29 日	1. 社会福祉法人かるべの郷福社会令和 2 年度補正予算（案）について 2. 社会福祉法人かるべの郷福社会令和 3 年度事業計画（案）について 3. 社会福祉法人かるべの郷福社会令和 3 年度予算（案）について 4. 給与規程の変更について 5. かるべの郷グループホーム夢一運営規程の変更について 報告事項：理事長の職務の執行の状況

令和 2 年度評議員会

	開催日	協議事項
第 1 回	令和 2 年 6 月 (書面開催)	1. 社会福祉法人かるべの郷福社会令和元年度決算（案）について 報告事項：社会福祉法人かるべの郷福社会令和元年度事業報告

令和 2 年度監事監査

開催日	監査事項
令和 2 年 5 月 13 日	・ 理事の職務の執行状況 ・ 事業報告及びその付属明細書 ・ 計算関係書類（計算書類及びその付属明細書） ・ 財産目録

2. 人事労務管理

①人材育成

・法人内資格保持者数

(人)

資格種類	取得者数	資格種類	取得者数
介護職員初任者研修	8	認知症介護実践者研修	18
介護職員実務者研修	26	認知症介護リーダー研修	3
ホームヘルパー 2 級	31	相談支援専門員	7
喀痰吸引等研修	21	*サービス管理責任者	10
介護福祉士	85	看護師	15
社会福祉主事	14	保育士	10
社会福祉士	11	強度行動障害支援者実践研修	4
精神保健福祉士	5	管理栄養士	3
理学療法士・作業療法士	2	調理師	13
介護支援専門員	27	秘書検定 2 級	7
主任介護支援専門員	6	福祉住環境コーディネーター	3

*サービス管理責任者には児童発達支援管理責任者を含む

・法人全体での研修会の開催

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、毎年 4 月 1 日に実施している法人全体の経営方針説明会及び、12 月に開催する感染対策研修会は中止となった。感染対策については、各部署でシミュレーションを実施し、注意事項についてはオクレンジャーで速やかに発信した。

②介護職員の確保

- ・ホームページ等の活用で、広く“かるべの郷”をアピール
- ・就職フェア等の参加
- ・ハローワーク主催企業説明会への参加

③職場環境

- ・職員の健康づくり(40 歳以上の希望者に人間ドッグの実施・市と協力した体力測定会を実施)
- ・安全運転への配慮(制限速度・道路交通法の遵守・運転する職員への研修を実施)
- ・社会保険労務士と共に安全衛生委員会を開催し、安全衛生パトロールを実施
- ・ストレスチェックの実施
- ・非常災害対策計画・業務継続計画(BCP)の策定及び見直し
- ・消防訓練(消火・避難訓練)年 2 回
- ・働き方改革により年休取得を推進
- ・「ユースエール企業」(若者の育成や採用に積極的である企業)に認定された
- ・分かりやすい評価と昇給制度及び定期的な面接で職員の「やりがい」につなげた

3. 事業管理

(1) シニア事業部

- ・特別養護老人ホームかるべの郷さざんかでは、職員自らが自分たちの問題を解決していけるよう、3つの委員会（5S委員会・ノーリフティングケア委員会・常に考える委員会）を立ち上げ、問題解決について検討した
- ・お客さまの状況に合わせ、サービス内容を柔軟に変更し対応
- ・看取り介護の実施（好まれる食事を状況に合わせてスムーズに提供・
終了後のカンファレンスで良かった点、改善が必要な点を話し合う）
- ・職場内での研修（職員が講師となり、多岐に渡る研修を実施）
- ・認知症ケアの充実（研修に参加し、伝達研修を行う）
- ・感染予防対策のため外出制限等を行う中、快適に過ごしていただけるよう行事等を計画した
- ・「KARUBE・GARDEN LIVING」の庭や地域交流スペースでの地域との交流
- ・かるべの郷デイサービスセンターで『過ごし方を自分で決めていただく充実した個別プログラム』に取り組んだ

(2) チャレンジド事業部

- ・長期入院精神障害者地域移行推進事業の受託
- ・地域移行・地域定着を積極的に実施し、他の相談支援事業所等にスーパービジョンを行う
- ・相談支援従事者初任者研修でのファシリテーターで養成や資質の向上に寄与
- ・かるべの郷ドリームブリッジ（自立生活援助）を4月に開始し、精神科病院の退院者の困りごとについてきめ細やかに支援した
- ・かるべの郷グループホーム夢三の定員を10月に4名から7名に増員し、精神科病院退院者が地域で生活できるよう入居を受け入れた
- ・新型コロナウイルス感染症感染防止のための臨時休校に伴い、かるべの郷放課後等デイサービスで感染防止に努めながら、定員を超えて受け入れた
- ・養父市自立支援協議会の準備段階から協力し、構成員として地域課題について検討した

(3) ホームケア事業部

- ・南但馬で唯一特定事業所加算（Ⅰ）を算定しているヘルパー事業所として、質の高いサービスの提供に努めた
- ・特定事業所加算（Ⅱ）を算定している居宅介護支援事業所として、質の向上に努めた
- ・高齢者相談センターようか・やぶで総合相談を実施
- ・相談センターpolarisで、市内の引きこもりに関する相談を実施
- ・人材育成と資格取得のため、実務者研修と喀痰吸引等研修を実施

Ⅲ. 地域との共生

(1) 地域から法人へ

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、今年度は夏祭りを実施せず、ボランティアの受け入れを中止した。

(2) 法人から地域へ

- ・安心見守りネットワークへの参加
- ・介護技術講習会（『KARUBE・TREE×TREE』にてカフェ開催）
- ・養父中学校出前授業（兵庫県老人福祉事業協会 介護業務イメージアップ推進事業）
- ・就職フェア等への参加

・令和2年度 『KARUBE・TREE×TREE』 来客状況

目 的	相談	休憩	トイレ	その他	合計
人 数	362	108	85	206	761

Ⅳ. その他

・新型コロナウイルス感染症対策

令和2年1月15日に国内最初の新型コロナウイルス感染者が確認された。令和2年4月7日～令和2年5月21日、令和3年1月14日～令和3年2月28日に兵庫県が緊急事態措置区域となった。令和2年11月には但馬管内でも感染者の報告があり、より感染防止対策に努めた。新型コロナウイルス感染症では高齢者や持病を持つ方は重症化しやすいことから、感染拡大防止のために厚生労働省の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処指針」、国の新型コロナウイルス感染症対策専門会議の提言及び、兵庫県の「新型コロナウイルス感染症対策のための緊急提案」に基づき、以下の点に取り組んだ。

- ・施設内等、人が触る部分を毎日消毒（通年実施中）
- ・職員の検温及び体調確認
- ・サービス利用前に、お客様及びご家族様の検温及び体調確認
- ・職員が、三密となる場所及び遠方への外出の自粛
- ・面会制限及びそれに伴うご家族様への電話等の対応
- ・オンライン面会の実施
- ・法人内の会議の自粛
- ・国の通達による、モニタリング訪問及びサービス担当者会議等の自粛
- ・物品（マスク・消毒用アルコール・手袋・ガウン等）の調達
- ・お客様、ご家族様に法人内での新型コロナウイルス感染症対策について文書でお知らせ
- ・業務継続計画（BCP）の見直し

令和2年度 養護老人ホームかるべの郷あじさい事業報告

1. 総括

養護老人ホームかるべの郷あじさいが地域貢献のために何ができるのかを念頭に置き、全職員が「社是」「社訓」「行動指針」に基づいた行動に努めた。お客様がその人らしく生きがいのある生活を送ることができるとともに、安心して充実した毎日を過ごして頂けるようサービスの提供に努めた。

(1) 業務内容の改善について

日々のミーティングの中で、「お客様へのケア」「業務」「事故、ヒヤリ・ハット」等を確認・検討し合うことで、お客様の安心で快適な生活が提供できると共に、職員が安心してケアが提供できるよう努めた。

また、定期的（月1回）に職員会議を開催し、職員ひとりひとりが問題を問題として捉え、お客様のために自分たちは何ができるのか、どうすれば解決できるのか考える力を身につけられるように努めた。

(2) 各関係機関との連携について

養父市、朝来市、豊岡市、香美町等の担当者と、日頃から訪問や電話連絡等で情報交換を行い、いざという時に協力し合える関係性の構築に努めた。経済的理由や精神疾患等を抱えているために在宅生活が困難な方、他施設への入所を断られた方等、養父市、朝来市以外の市町のお客様の受け入れについても市役所と連携を図り対応した。また、お客様の中には、精神科病院をはじめ整形外科、眼科など専門医の協力が必要な方も多く、各医療機関とも連携を図った。災害時（特に台風時）は受け入れの対応が即時にできるよう職員が待機し、養父市役所や地域の区長等と連絡を取り合った。

2. 行事内容の充実への取り組み

お客様に、あじさいでの生活の中で楽しみや気分転換の機会が持てるよう、毎月、季節感を感じられるような行事や外出などを計画・実施した。また、感染症拡大予防のため、地域行事や外出行事等が行えず、行動が制限される入所者に、施設内でも楽しみや気分転換につながるように農作業ができる畑スペースを新たに設けた。

普段居室で過ごしている時間が多い方が中庭の畑で作物を収穫したり、収穫した野菜を調理したり、入所者が意欲的に取り組んでいた。

また、介護予防のため1日に2～3回体操を行う機会を毎日設けた。また、ゲームや歌などのレクリエーションを実施し楽しみながら身体を動かすことができるようにした。

〔行事内容〕

	行事内容
4 月	上旬 桜の花見 17 日 春のお茶会
5 月	29 日 DVD 鑑賞会
6 月	26 日 お寿司パーティー
7 月	27 日 クッキング（みるく餅）
8 月	19 日 あじさい花火大会 16 日 養父ふるさと祭り
9 月	9 日 あじさい敬老会 29 日 クッキング（ベビーカステラ）
10 月	29 日 あじさい運動会
11 月	16 日 お茶会
12 月	11 日 焼き芋パーティー 28 日 お寿司パーティー
1 月	1 日 新年祝賀会 14 日 すき焼きパーティー
2 月	4 日 節分行事 14 日 麺パーティー
3 月	22 日 鍋パーティー（よせ鍋）

〔その他〕

『生け花クラブ』（第 1・3 火曜日実施）

『和み喫茶』（月 1 回）

『誕生祝会』（月 1 回）

『カラオケ』（月 1 回）

『クッキング』（月 1 回）

3. 職員の専門性を高める取り組み

地域移行で精神科病院を退院された方を積極的に受け入れ、入所されるお客様に精神疾患を抱えておられる方が増加し、多種多様な関わり方が求められるようになった。病気や障がいに合わせて適切なケアが行えるよう勉強会を開催し、病気や障がいの理解を深めるとともに、各職員が専門的な知識や技術のレベルを向上し、お客様に適切なサービスを提供できるよう努めた。

感染症予防のため外部の研修へ参加する機会はあまりもてなかったが、日々のミーティングや職員会議の時間を活用し、利用者ひとりひとりに寄り添ったケアを提供するために根拠に基づいた方法を検討するように努めた。

〔研修内容〕

研修日	研修名	研修場所
10月22日	育成指導者スキルアップ研修 「起き上がり、移乗」①	但馬長寿の郷
11月20日	但丹地区養護老人ホーム職員研修会（オンライン研修） 「マスクの機能が分かる 生かす 護る」	大和紡績株式会社 製品・テキスタイル事業本部 機能材料研究開発部
12月11日	育成指導者スキルアップ研修 「起き上がり、移乗」②	但馬長寿の郷
1月19日	養護部会企画 職員研修会（オンライン研修） 「環境デザインの視点から考える認知症高齢者への支援について」	東京電機大学 未来科学部建築学科
2月2日	身体拘束廃止、虐待防止研修会（オンライン研修）	
3月11日	介護職職場定着実践研修 「ノーリフティングケアの定着に向けた取組」	但馬長寿の郷
3月11日	養護部会施設長研修会 「養護老人ホームの会計上の傾向について」	独立行政法人福祉医療機構

4. 入所者人数

〔月初入所者数〕

(人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均 人数
51	51	50	50	49	48	50	49	49	49	48	48	49.3

令和2年度 特別養護老人ホームかるべの郷さざんか事業報告

職員一人ひとりがお客様を心から大切にしたいサービスを提供するとともに、職員が働きやすいさざんかを目指し、令和元年より全ての業務において業務改善や改修工事を行ってきた。令和2年度からは、さざんかの問題となっていることを、現場の職員が解決していくことを目指し3つの委員会を立ち上げた。さまざまな問題点を各委員会のテーマごとに割り振り、毎月会議を持ちサービスや業務の見直しを行った。

1. 委員会の取り組みについて

(1) 5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）委員会

お客様の生活環境を整えるという行動をとることが苦手な職員が多い中、どうすれば全員が継続してできるようになるか、という問題を検討。

棚の衣類整理、車椅子の清掃は業務の中に組み込みできる状況を作った。また、身だしなみやベッド環境の乱れについてはインカムで気づいた職員がその場で伝え意識を高めることを継続している。

(2) ノーリフティングケア委員会

さざんかでのケア全てにおいてノーリフティングケアを実践し、リフト使用がスタンダードになるようその考え方や技術の浸透を目標に取り組んだ。

まず、腰痛アンケートをとりどのような動きが介護者の身体に負担になるか意識を持てるように働きかけた。そして、負担の大きいケア上位の移乗やオムツ交換の介助方法を職員二人対応にする等安全に行えるよう見直した。また、ボードやリフトの使用方法について勉強会を開催し、その技術の習得とともに必要性の意識の浸透を図っている。

(3) 常に考えるケア委員会

「なぜ、この業務が必要であるか」など、常に考えながらケアができことを目指し、業務すべてにおいて見直しを行った。

「お客様一人ひとりに合わせたオムツ交換のタイミングやサイズの見直し」「義歯の管理を確実にできるよう全員分の義歯の写真を保存」する等、データを見やすいように管理し、全職員が統一して対応しやすく、いつでも確認しやすいようにまとめた。

毎月、職員から数多く出るヒヤリハットや事故報告書の一つ一つを確認し見直しを行っている。

また、感染症拡大予防のため行動が制限される入所者に、施設内でも意欲をもって過ごしていただけるよう、取り組みやすい軽作業の準備や行事を計画実施した。

2. 職員の専門性を高める取り組み

- (1) 感染症予防のため外部の研修会は必要最低限にとどめ、現場のケアに直接活かしている研修会で近場の研修会のみ参加した。

今後は統一した技術を全員が持つために現場の職員同士で介護技術を指導しあえるよう、指導者養成の研修に職員4名が参加し根拠に基づいた指導方法を学んだ。

〔外部研修〕

研修日	研修名	研修場所
5月11日	介護技術研修 「自立支援の考え方」「環境整備」	但馬長寿の郷
6月15日 9月4日 10月26日 3月11日	介護職の職場定着等に関する検討会議 「ポジショニング」テキスト作成	但馬長寿の郷
9月7日	介護技術研修「移乗介助」	但馬長寿の郷
10月12日	介護技術研修「ポジショニング」	但馬長寿の郷
10月21日 22日	育成指導者スキルアップ研修「起き上がり、移乗」①	但馬長寿の郷
11月27日 12月2日 1月27日 1月29日	リフト等福祉用具利用体験・相談会研修	但馬長寿の郷
12月10日 11日	育成指導者スキルアップ研修「起き上がり、移乗」②	但馬長寿の郷
12月11日	(オンライン) 介護現場における生産向上セミナー	株式会社 日本能率協会総合研究所
3月11日	介護職職場定着実践研修「ノーリフティングに向けた取り組み」	但馬長寿の郷

〔施設内勉強会〕

日程	内容	
5月、7月 9月、11月 1月、3月	但馬長寿の郷 理学療法士による個別指導 介助技術の指導方法の研修会	
9月25日 11月6日	介護技術研修会『ポジショニング』	長寿の郷 PT
11月10日 12日	介護技術研修会『排泄介助』	(株)リブドゥコーポレーションサポーター
1月21日	介護技術研修会『起き上がり介助』	
2月4日	(オンライン) 医療・介護職のための「優しさを伝えるケア技術」	ユマニチュード認定インストラクター
11月27日	移乗介助用リフトの使い方(基本)	長寿の郷 PT

2月26日	移乗介助用リフトの使い方（注意するポイント）	
3月11日他	感染症対応研修会『処理方法のシミュレーション』	

- (2) 自己評価と上司評価・面接を年2回実施し、日頃の自分自身を振り返る機会を設けた。面接では、法人の考え方を説明しながら、各職員の成長のため上司からの期待や改善点を伝えるとともに、仕事で困っていることや不安に思うようなことなどがないかなどの相談にも応じた。

3. 利用実績

〔1日平均利用者数〕

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
長期入所者	49.1	48.9	48.3	48.1	48.2	48.4	47.9
短期入所者	11.5	10.8	9.9	9.7	9.6	11.7	11.6
利用者合計	60.6	59.7	58.3	57.9	57.9	60.1	59.5
	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
長期入所者	48.2	47.0	47.1	46.3	47.2	47.9	
短期入所者	11.8	11.6	11.2	11.9	12.0	11.1	
利用者合計	60.0	58.7	58.4	58.2	59.3	59.0	

4. 調理部門

当法人では、調理業務を直営で行っており、そのメリットを活かしお客様一人ひとりの状態に応じたきめ細やかな対応を心がけている。また、四季折々の地元産の新鮮な食材を使用した家庭的な美味しい食事の提供に努めている。

令和2年度は、職員一人ひとりがかるべの郷の基本理念に基づき、お客様にとって「食べやすく美味しい食事」、「食べる」ことが生きる喜びや楽しみにつながるように心のこもった家庭的な食事をめざし日々業務に取り組んだ。

また、読書・研修会等に積極的に参加して自己研鑽に励むとともに人間力を高め、一人ひとりがもてる力を発揮し、より良い食事サービスが提供できるように工夫し意欲的に取り組むことができた。

【食事】

①厨房職員おすすめメニュー

月1回昼食時に調理職員が、お客様の嗜好に対する配慮も行いつつこだわりの個性あふれる献立を考え提供した。旬の食材を使用した季節料理や手作りの心こもった料理は、お客様に大好評であった。

②食事に関わる行事への参加

夏祭り等施設内の行事に調理員が積極的に参加し、施設職員の一員として意識を高めることができた。

③大量調理衛生管理マニュアルに基づいた衛生管理の徹底

食中毒予防、感染症対応においては、迅速、確実に行った。また厨房職員としての責任感をもって自己の健康管理に十分気をつけた。

④食材管理

かるべの郷ドリームワークスが生産した地元産の旬の新鮮な食材を仕入れ活用した。

【栄養管理】

低栄養の予防と栄養改善のために、多職種協働でお客様の身体状況、栄養状態及び嗜好を把握し、適切な栄養管理や評価を行い、個別の栄養ケアを行った。また、「口から美味しく食べること」を継続できるように医師の指示のもと管理を行った。

【給食会議】

- ・利用者に「美味しく楽しく安全な食事」が提供できるように、献立、行事食、食事形態等の検討など活発な意見交換を行った。
- ・業務改善委員会、環境整備衛生委員会、献立検討委員会それぞれの委員会で課題をみつけ検討、改善に努めた。

【年間行事食】

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
4 月	観桜会（弁当）、誕生日お祝いメニュー 旬菜料理（木の芽和等）	10 月	秋祭り、誕生日お祝いメニュー 旬採料理（まつたけご飯）
5 月	端午の節句、旬菜料理（ふきご飯等） 誕生日お祝いメニュー	11 月	誕生日お祝いメニュー 季節料理
6 月	誕生日お祝いメニュー 季節料理（えんどうご飯等）	12 月	冬至、誕生日お祝いメニュー クリスマス、大晦日
7 月	七夕（素麺）、観音祭、土用（丑の日） 誕生日お祝いメニュー、季節料理	1 月	お正月（雑煮、おせち料理） 七草、小豆粥 季節料理、誕生日お祝いメニュー
8 月	夏祭り 誕生日お祝いメニュー	2 月	節分、鍋パーティー 誕生日お祝いメニュー 季節料理
9 月	敬老祝宴 誕生日お祝いメニュー	3 月	雛祭り 誕生日お祝いメニュー

令和2年度 かるべの郷デイサービスセンター事業報告

昨年度に引き続き、「かるべの郷デイサービスセンターがどのように地域に貢献していくことができるのか？」そのために「お客様にかるべの郷デイサービスセンターが必要な存在となるためにはどうすれば良いか？」を念頭に、お客様にかるべの郷デイサービスのご利用に目的をもっていただけるようサービスの見直しを行った。お客様の希望に応じるだけでなく、潜在的なニーズを発見し、職員からお客様へサービスの提案も行った。

1. 過ごし方を自分で決めていただく充実した個別プログラムの取り組み

お客様お一人おひとりに、ご利用当日のプログラムを選んでいただく。

選択していただくプログラムは『レッドコード』『フットマッサージ』『マシン』『カラオケ』『調理リハビリ』であり、お客様が「自分は何をして過ごしたいか」自ら選択していただきホワイトボードの各欄にご自分の名前を貼って決めていただくシステムとした。

ホワイトボードにご自身で名前を貼ることが難しくても、お客様が「今日は〇〇を予定していて」と言われたり、「今日は何をして過ごされますか」と職員がお客様に確認している。

中々選択していただけないお客様には職員が積極的にコミュニケーションを図り、お客様自らメニューを選択し取り組んでいただけるよう、お客様のやりたいことを見つけ意欲を引き出していけるよう関わった。

* 日々のプログラム

午前・午後	入浴			
選択メニュー	レッドコード・マシン	フットマッサージ	調理リハビリ	カラオケ

9 : 30	来所・バイタル測定・スケジュール決定	
9 : 45	入浴（一般浴） （特浴）	・【選択メニュー】調理リハビリ、機能訓練等 ・個別レク
11 : 30	集団体操、口腔体操、DAM 体操（カラオケ機器を用いた体操）	
12 : 00	昼食	
14 : 00	・【選択メニュー】機能訓練、個別レク等 ・個別レク（手芸、将棋、カラオケ等）	
15 : 20	喫茶タイム	
15 : 45	洗濯物たたみ	
16 : 05	送迎開始	

＊お客様の誕生日に近い利用日にお誕生日のお祝いを行う。

2. 介護予防・生活機能向上のためのレクリエーション

介護予防のための脳トレーニングメニューを豊富に準備し、毎日、殆どのお客様が好まれるメニューに取り組まれている。「塗り絵」ではより高度な物に挑戦されるお客様が増えてきた。額に入れフロアの壁に展示し大勢の方に鑑賞していただくようにし、作成されたお客様自身も「飾ってもらっている」と喜んでいただけた。

「今日は計算問題をください」「今日は漢字をしてみるわ」等と取り組むメニューをお客様が自ら求められることが増えた。毎回、個別メニューに取り組まれることで上達され、お客様の要望に応え内容の充実も図った。

塗り絵など個別メニューを提供してもなかなか取り組んでいただけないお客様へ、数字合わせ等の取り組みやすい道具を検討し、お客様へ提供した。

カラオケルームを増設し、カラオケを好まれるお客様に本格的に趣味を楽しんでいただけた。又、リクライニングチェア・フットマッサージャーを導入し、体をほぐしていただきリラックスしていただく場所と時間を設けた。

「調理をしてみたい」との要望もあり、昼食の献立メニューの中から1品をお客様に調理していただいた。当初は戸惑っておられたお客様も「とても楽しいです」「昔みたいに自分で料理ができてうれしいです」と感想を言っていただけた。

3. 機能訓練について

「体を動かしたい」と希望されるお客様が多いため、レッドコード・マシン・機能訓練指導員によるリハビリとメニューを増やし、1日の中で運動する機会をたくさん持っていただいた。

レッドコードは体を動かしやすくお客様全体の9割の方に参加していただいている。下半身麻痺の方も「上半身を動かすことでベッド上での寝返りや起き上がりがスムーズにできるようになった」と感想をいただいた。

機能訓練指導員は理学療法士・作業療法士を採用し、お客様に専門的なリハビリを受けてもらう事ができ、職員もお客様の事で疑問に思うことを尋ね聞く事で、安心して関わる事が出来た。

4. 認知症ケアの専門性向上のための取り組み

認知症をお持ちのお客様が3割以上を占める中で、迎えに行っても「今日は行かない」と利用を拒まれる方や、「まだ準備が出来ていない」と迎え時間に出かけられない方もある。そのようなお客様は時間をおいて再度迎えに行き、利用していただけるよう言葉かけを行った。

来所後に「帰りたい」と落ち着かない方、自分の心の世界に入り独り言をいわれる方等、

BPSD（認知症の周辺症状）も多種多様である。お客様が快適に過ごせているか、利用中一日を通して職員が常に気にかけてながら、必要に応じて言葉かけを行い、興味を持っていただけたようなメニューを提供するなど安心して過ごせるよう対応している。また、不安な気持ちになりやすいタイミングなどを把握するよう努め、可能な限り不安になる前に関わることができるよう対応している。

言葉のかけ方や対応の方法、安心して過ごすことのできる環境面への配慮など認知症ケアへの専門性を高めるため、昨年度「認知症介護実践者研修」に参加した職員を中心に、得た知識や考え方を現場での実践に活かし共有できるようデイサービス職員を対象にセンター方式などを活用し認知症ケアについての勉強会を実施した。

5. 職員の資質向上・サービスの向上への取り組み

①職員の資質向上のための取り組み

デイサービス職員全員の考え方の統一を目指し、施設内での研修や勉強会を定期的に開催し、職員全員で意見交換できる場を設けた。

②専門性向上のための取り組み

各職員が知識や技術のレベルを上げ、またサービスへの意識を高めることで、お客様に、より質の高いサービスを提供していけるよう努めた。

③業務の見直し

基本的な業務の統一だけでなく、各職員が実施しているお客様への配慮についても全職員が共有できるよう各業務マニュアルの修正や追加を随時行った。そして、一人ひとりのお客様に対する声のかけ方や対応方法、配慮している点などの統一を図った。

インカムを活用し迅速な情報の共有を行うことが出来た。

緊急時の対応について、どの職員でも対応ができるように勉強会を行った。

6月のデイサービスのリニューアルに向けて、船井総合研究所のコンサルタントと毎月定例ミーティングを行った。

〔研修内容〕

	研 修 名	研修場所
04月24日	船井総研定例ミーティング	かるべの郷
05月14日	船井総研定例ミーティング	かるべの郷
06月18日	船井総研定例ミーティング	かるべの郷
07月15日	船井総研定例ミーティング	かるべの郷
08月19日	船井総研定例ミーティング	かるべの郷
08月27日	認定調査員研修	長寿の郷
09月03日	船井総研定例ミーティング	かるべの郷
10月13日	船井総研定例ミーティング	かるべの郷
11月12日	船井総研定例ミーティング	かるべの郷
01月12日	船井総研定例ミーティング	かるべの郷

02月09日	船井総研定例ミーティング	かるべの郷
03月15日	船井総研定例ミーティング	かるべの郷

5. 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
通所介護利用者(人)	877	922	944	1,014	987	1,038
予防通所利用者(人)	86	84	90	91	73	83
介護保険利用者合(人)	963	1,006	1,034	1,105	1,060	1,121
生活介護利用者(人)	22	21	22	23	21	8
利用者合計(人)	985	1,027	1,056	1,128	1,081	1,129
平均利用者(人)	37.0	38.7	39.8	40.9	40.8	43.1
稼働日数(日)	26	26	26	27	26	26

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
通所介護利用者(人)	1,057	997	1,001	947	977	1,060
予防通所利用者(人)	109	111	109	88	97	111
介護保険利用者合計(人)	1,166	1,108	1,110	1,035	1,074	1,139
生活介護利用者(人)	0	0	0	0	0	0
利用者合計(人)	1,166	1,108	1,110	1,035	1,074	1,139
平均利用者(人)	43.2	44.3	42.7	43.1	44.8	39.6
稼働日数(日)	27	25	26	24	24	27

令和2年度 かるべの郷花笑み倶楽部事業報告

お客様がその人らしく生きがいのある人生を送ることのできる支援を目指し、心身ともに元気に自宅での生活が継続できるよう、お客様の要望に添ったサービスの提供とともに介護予防に努めた。

1. 介護予防サービスの充実について

かるべの郷花笑み倶楽部をご利用されているお客様は「友だちとここで顔を合わせて一緒に話して過ごすことが楽しい」「友だちと話をしていると思いきり笑うことができる」と親しい方との交流を楽しみにされている方が多い。お客様に満足していただき休まずに毎回利用していただけるよう、お茶を飲みながらゆっくりと会話ができる時間を毎回提供している。

しかし、楽しんでいただくだけでなく、ADLの維持・向上を目指し、日常の生活動作に繋がる体操メニューを実施し、効果的に身体を動かしていただく機会を持った。積極的にレッドコードに参加していただき、「これは本当に体が動かしやすい。毎回必ずしたいです」と感想をいただいた。フットマッサージャーも積極的に利用していただき、「体が軽くなったようだ」と喜んでいただいた。

本年度は、介護認定の申請に繋がった方が3人であった。自宅で閉じこもりがちな生活を送られている方が当サービスの利用をきっかけに、外出や気分転換の機会が持てるようになる方が多い。地域の高齢者の方が、一日でも長く自宅での元気な生活を送ることができるよう、今後もサービスをさらに充実させ介護予防に努めていく。

2. 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者(人)	24	0	31	37	32	36
一日平均利用者(人)	4	0	5.1	6.1	5.3	6
稼働日数(日)	6	0	6	6	6	6

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者(人)	26	24	27	23	24	33
一日平均利用者(人)	4.3	4	4.5	3.8	4	3.1
稼働日数(日)	6	6	6	6	6	6

今年度は新型コロナウイルス緊急事態宣言のため、5月は休館とした。

令和2年度 かるべの郷短期入所生活介護事業所事業報告

お客様が住み慣れた地域でその人らしく過ごすことができ、お客様やご家族にとって安心できる場所になれるように努めた。また、地域の方々が気軽にガーデンリビングのガーデンに立ち寄ることができ、身近に感じていただける事業所であることを目指した。

1. サービス内容について

- ・お客様ご自身が選択し、楽しみながら取り組めるような体操や脳活性メニュー、機能訓練などのメニューを準備し、個々に合ったレクリエーションメニューの提供をした。今後も、お客様ご本人やご家族の希望を伺い、個別のサポート方法について職員同士が検討し合い、より選んでいただけるサービスを目指す。
- ・お客様が中心となり、掃除や洗濯、食事の準備などを実施してもらえるように職員がサポートを行った。今まで慣れ親しんできた役割を継続することで、生き甲斐を持って生活していただけるように関わった。
- ・お客様やご家族、担当介護支援専門員、主治医等の関係機関と連携を図り、お客様個々に合った適切なケアが統一して行えるよう努めた。
- ・面会できない期間であっても、気軽にご家族と電話やオンライン面会ができることにより不安なく過ごしていただけるよう、日ごろから相談し合える信頼関係の構築に努めた。
- ・緊急ショートステイ専用床として、緊急にご利用希望されるお客様の対応を行った。
- ・外部行事が行えなかったため、クッキングや近隣への散歩の機会を多く持った。

〔その他、行事内容〕

月日	行事内容等
04月30日	クッキング（桜餅）
05月19日	消防訓練
05月21日	クッキング（マーブル白玉）
06月10日	クッキング（そうめん）
07月13日	クッキング（ちらし寿司）
08月07日	クッキング（ぼた餅）
09月18日	クッキング（白玉パフェ）
10月27日	クッキング（パンケーキ）
11月25日	消防訓練
11月27日	クッキング（スイートポテト）
12月17日	クッキング（たこ焼き）

01月01日	新年祝賀会
01月22日	クッキング（鍋）
01月29日	クッキング（ロールケーキ）
02月03日	クッキング（ぼた餅）
02月09日	クッキング（ふっくらドーナツ）
02月16日	クッキング（鍋）
03月04日	クッキング（ウインナーパン）
03月18日	クッキング（お好み焼き）

2. 職員研修

研修日	研修名	研修場所
09月18日	介護技術研修『認知症対応』	但馬長寿の郷
10月27日	介護技術研修『スキンケア』	但馬長寿の郷
11月10日 12日	介護技術研修会『排泄介助』 株式会社リブドゥコーポレーションサポーター	かるべの郷
11月11日 12月10日	働く女性のキャリアデザインセミナー	養父公民館
01月19日	介護職員のための感染対策	ガーデンリビング

感染症予防、緊急時対応、身体拘束廃止、虐待防止や人権擁護については、定期的に研修を実施

3. 利用実績

①〔1日平均利用者数〕

(人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
18.70	18.52	19.27	19.23	19.35	19.13	19.52	18.70	16.68	18.26	19.32	19.19	18.99

②〔月間要介護度別利用者数〕

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	12	8	9	9	9	10	11	11	10	9	8	7	113
要介護2	8	9	9	10	12	11	13	13	10	9	16	16	136
要介護3	15	16	15	16	17	18	16	15	15	16	12	15	186
要介護4	8	8	9	10	9	8	9	12	11	11	8	8	111
要介護5	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	6
合 計	44	41	42	45	48	47	50	52	47	46	45	47	554

令和2年度 かるべの郷認知症対応型共同生活介護事業所事業報告

これまでご家族様との外出や外泊を積極的に勧めていたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため継続が困難となり、お客様の楽しみの時間や活動が減少した年となった。

そこで、『お客様が可能な限り自立した生活を営む』の実践を一から見直し、お客様ご自身が意欲的に取り組めることを増やしていけるよう、屋内での行事、体操やリハビリメニューを増やし、毎日身体を動かす機会を持ち、心身機能の維持向上に努めた。

1. サービス内容について

- ・外部との面会が自由にできなくても、少しでもご家族様の顔を見て安心していただきたいとの思いから、4月中に準備を整え、いち早くLINEを活用してのオンライン面会を開始した。LINEを利用することで遠方のご家族様の顔を見ながら話していただけた。
- ・1日2回、毎日全員（各ユニットで実施）で体操を行い、身体を動かす時間を定着させた。また、効率的に特に下半身を動かせるよう、足漕ぎのマシーン、ゴムバンドなどの物品を揃えた。活用できるよう、職員が使用方法をデイサービスのPTから学び毎日実践した。
- ・「カラオケがしたい」というお客様の要望に応え、月1回程度デイサービスでのカラオケを楽しんでいただいている。
- ・これまでクッキングは基本月1回であったが、回数を増やし、内容もスイーツだけでなく、昼食や夕食を一緒に作っていただくようにした。
- ・感染症拡大予防に努め、毎日消毒を行い、清掃や整頓にも努めた。

〔行事内容〕

	行事内容	クッキング内容
4月	桜の花見	桜もち
5月	避難訓練	マーブル白玉団子
6月		フルーツポンチ
7月		おつまみピザ
8月		たこ焼き
9月	避難訓練	ぼた餅
10月		きな粉のホットケーキ
11月		ちらし寿司
12月		あん巻き
1月	（1日）祝賀会	ぼた餅、ちらし寿司、カレーライス、白玉団子

2月	(6日) カタシマ喫茶 (25日) 外食	お好み焼き
3月		ちらし寿司、パンケーキ

2. 職員の専門性を高める取り組み

認知症をお持ちのお客様への関わり方について、『自立』を目標として掲げ、ケース検討を通して勉強し、実践につなげた。

「相手の行動を否定しない」「行動を抑制しない」「まず話をきく」という姿勢、「職員はお客様をサポートする」という意識が持てるよう徹底した。

3. 入居者状況

①〔月間要介護度別入居者数〕

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	5	5	5	4	4	4	3	4	4	4	4	4
要介護2	6	6	7	7	7	7	7	7	5	5	5	4
要介護3	2	2	3	3	3	3	2	2	4	4	4	4
要介護4	3	3	3	4	4	4	6	5	5	5	5	6
要介護5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	18	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18

②〔1日平均入居者数〕

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	17.0	17.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0

令和2年度 介護職員の養成等事業報告

(かるべの郷実務者研修・かるべの郷喀痰吸引等研修)

1. 総括

平成19年に社会福祉士及び介護福祉士法等が一部改正され、介護福祉士の資質向上のため、実務経験で介護福祉士の国家試験を受ける者に対し、介護福祉士実務者研修の受講が必要となった。かるべの郷の職員だけでなく、近隣の法人職員の資格取得とレベルアップのために上記の研修を実施した。

実務者研修では、決められたルーチンケアを実施するだけでなく、お客様を理解し、お客様にとって必要な介護を皆が提供できる介護計画をたてる介護過程について学んでもらい、実務で活かせる研修となるよう工夫した。介護の仕事にやりがいを感じてもらえるよう、介護される体験を取り入れながら、介護福祉士の資格取得を目指してもらった。

喀痰吸引等研修事業は、第2号研修（不特定の物多数）を実施した。基本研修を座学で学び、筆記試験に合格した者が、基本演習（モデル人形を用いて医療行為を実施）と実地研修（実際のお客様に対し看護師の指導の下定められた医療行為を実施）を行った。

2. 受講人数

研修名	定 員	受講者数	修了者数	備考
かるべの郷実務者研修	15	6	6	
かるべの郷喀痰吸引等研修	10	10	10	

令和2年度 かるべの郷居宅介護支援事業所事業報告

「社是」「行動指針」「社訓」に基づき、お客様が住み慣れた家で安心して生活していただくために、お客様の思いに寄り添いながら、タイミングに合わせた迅速な対応に努めた。登録人数は延べ3123人であり、居宅介護支援の契約のみのお客様については、不定期に訪問や電話による状態確認を継続して行い、状態が変わった時など速やかに対応できるように心がけた。Yタウンの定例会議や月に一度の清掃に参加し地域貢献に努めた。

1. マネジメント内容について

- ・毎月訪問し、お客様やご家族様が安心して在宅生活を送っていただけるよう支援した。
- ・サービス担当者会議は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に注意しながら43件開催し、お客様・ご家族様の思いを理解し情報共有と目標の共通理解に努めた。
- ・お客様の状態の変化に合わせた早めの対応を心がけ、医療機関やサービス事業者とこまめに連携をとりながら支援した。
- ・独居のお客様の思いに寄り添い、限界まで在宅生活を支えることができた。
- ・末期がんだなど人生の終末期にあるお客様と、それを支えるご家族様の思いに寄り添い、悔いのない在宅生活が送れるよう支援した。
- ・精神疾患をお持ちのご家族様に対して、障がいの相談支援専門員・民生委員・病院・警察と共に情報を共有し、在宅生活が継続できるよう支援した。
- ・主治医へ必要時に情報提供や相談など連携をとりあい、良い関係性を築くことができた。
- ・防災の研修に参加し、避難行動要支援者の個別計画の作成に取り組み、地域と連携した。

2. 介護支援専門員の資質の向上について

- ・それぞれが読書やWEBでの研修など、自主的に自己研鑽に励んだ。
- ・感染拡大防止に注意をはらい、自身や家族の健康管理に努めた。
- ・毎日、情報共有や気になることを相談し、担当ケアマネジャーが不在でも、他の職員が速やかに対応できるよう努めた。
- ・事例検討会を開催し事例の見方を深め、お互いが支え合う環境づくりに努めた。
- ・新たに1名が研修を受け、5人中4人が主任ケアマネジャーの体制となった。

令和2年度研修内容

日時	研修名	場所	出席人数
R02/07/28	自立支援型地域ケア個別会議	市内	1名
R02/08/12	主任介護支援専門員更新研修	豊岡市	1名
R02/08/19	認知症支援ネットワーク会議及び初期集中検討委員会	市内	1名
R02/08/26	主任介護支援専門員更新研修	豊岡市	1名
R02/08/27	主任介護支援専門員更新研修	豊岡市	1名
R02/09/09	主任介護支援専門員更新研修	豊岡市	1名
R02/09/14	主任介護支援専門員更新研修	豊岡市	1名
R02/09/16	R2 年度福祉専門職対象防災対応力研修	市内	1名
R02/09/25	主任介護支援専門員更新研修	豊岡市	1名
R02/09/26	主任介護支援専門員更新研修	豊岡市	1名
R02/10/01	主任介護支援専門員更新研修	豊岡市	1名
R02/10/10	主任介護支援専門員更新研修	豊岡市	1名
R02/12/03	主任介護支援専門員研修	姫路市	1名
R02/12/14	主任介護支援専門員研修	姫路市	1名
R02/12/15	主任介護支援専門員研修	姫路市	1名
R02/12/22	主任介護支援専門員研修	姫路市	1名
R02/12/25	主任介護支援専門員研修	姫路市	1名
R02/12/26	主任介護支援専門員研修	姫路市	1名
R03/01/09	主任介護支援専門員研修	姫路市	1名
R03/01/24	主任介護支援専門員研修	姫路市	1名
R03/01/25	主任介護支援専門員研修	姫路市	1名
R03/02/08	主任介護支援専門員研修	姫路市	1名
R03/02/09	主任介護支援専門員研修	姫路市	1名

3. 給付管理を行った利用者数の推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
予防	45	45	44	43	44	43	43	44	44	43	42	42	522
介護	152	149	157	164	160	166	173	172	170	169	168	171	1971
合計	197	194	201	207	204	209	216	216	214	212	210	213	2493
新規	0	0	9	9	5	8	6	6	6	7	1	0	57
終了	0	3	2	3	3	1	1	4	4	3	5	4	33
利用なし	3	6	5	5	10	9	7	8	10	14	12	8	97

4. 介護度別利用者延べ人数

介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
人数 (%)	218 (8.7)	304 (12.2)	735 (29.5)	484 (19.4)	437 (17.5)	176 (7.1)	139 (5.6)	2,493 (100%)

令和2年度 高齢者相談センターやぶ事業報告書

事業名 高齢者相談センターやぶ

事業実施場所 養父市上箇 153-1 Yタウン『KARUBE・TREE×TREE』

事業期間 令和2年4月1日 から 令和3年3月31日

事業内容 養父市地域包括支援センターの一部委託

(1) 総合相談支援業務

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、初期段階での相談対応を行い、必要時速やかに申請手続きを実施し、ご本人・ご家族の選択に基づき公正中立に指定居宅介護支援事業所への紹介を行った。

(2) 権利擁護業務

消費者相談センターから気になる方の情報提供をいただき、市と連携した。

(3) ケアマネジメント業務

要支援状態の軽減もしくは悪化の防止に努め、お一人お一人が生きがいのある生活を送ることができるよう、適切なサービスのケアマネジメントが行えるよう努めた。

(4) 介護保険サービス支援

適切に住宅改修や福祉用具の購入ができるよう、長寿の郷の派遣等専門職と相談した。

実施内容

(1) 総合相談支援業務					
	新規相談	内認知症相談	継続相談	介護認定申請	居宅引継ぎ
4月	2	1	82	3	2
5月	8	3	82	7	4
6月	16	3	113	11	8
7月	14	4	128	10	8
8月	9		69	6	3
9月	20	4	118	18	6
10月	12		195	13	16
11月	7		106	5	5
12月	16	2	122	9	4
1月	13	6	119	10	6
2月	14	3	101	11	3
3月	11	1	160	11	5
合 計	142	27	1395	114	70

(3) ケアマネジメント業務						(4) 介護保険サービス支援	
	予防受託	予防委託	相談件数	サービス担当者会議	カンファレンス	住宅改修	福祉用具購入
4月	24	140	133			3	1
5月	25	133	120				
6月	22	136	125			3	3
7月	22	135	93			1	
8月	21	136	136	1			
9月	18	131	90				1
10月	20	141	75				
11月	21	138	123				
12月	21	132	102			1	1
1月	20	131	69			1	
2月	21	131	74				
3月	22	131	105			1	2
合 計	257	1615	1254	1	0	10	8

*新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、サービス担当者会議・カンファレンスは中止

令和2年度 高齢者相談センターようか事業報告書

事業名 高齢者相談センターようか

事業実施場所 養父市八鹿町八鹿 1576

事業期間 令和2年4月1日 から 令和3年3月31日

事業内容 養父市地域包括支援センターの一部委託

(1) 総合相談支援業務

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、初期段階での相談対応を行い、必要時速やかに申請手続きを実施し、ご本人・ご家族の選択に基づき公正中立に指定居宅介護支援事業所への紹介を行った。

(2) 権利擁護業務

消費者相談センターから気になる方の情報提供をいただき、市と連携した。

(3) ケアマネジメント業務

要支援状態の軽減もしくは悪化の防止に努め、お一人お一人が生きがいのある生活を送ることができるよう、適切なサービスのケアマネジメントが行えるよう努めた。

(4) 介護保険サービス支援

適切に住宅改修や福祉用具の購入ができるよう、長寿の郷の派遣等専門職と相談した。

実施内容

(1) 総合相談支援業務							
	新規相談	内認知症相談	継続相談	介護認定申請	居宅引継ぎ		
4月	6	3	280	4	11		
5月	11	5	207	6	5		
6月	20	6	316	16	5		
7月	11	5	344	12	12		
8月	15	7	322	14	8		
9月	12	3	297	11	10		
10月	16	4	328	12	10		
11月	11	5	306	12	13		
12月	12	5	272	7	5		
1月	17	7	434	16	15		
2月	15	10	328	10	14		
3月	24	7	498	19	9		
合計	170	67	3932	139	117		
	(3) ケアマネジメント業務				(4) 介護保険サービス支援		
	予防受託	予防委託	相談件数	サービス担当者会議	カンファレンス	住宅改修	福祉用具購入
4月	22	116	96			1	2
5月	22	118	102	1	3	1	
6月	24	120	122	2			
7月	22	121	94			1	1
8月	22	121	149		1		
9月	23	119	159				1
10月	23	119	190		1		
11月	22	119	156		2	1	
12月	23	121	123	2		2	
1月	24	121	88	1			2
2月	25	123	141	2			
3月	28	104	188		2		
合計	280	1422	1608	8	8	6	6

令和2年度 相談センターpolaris 事業報告書

事業名 養父市ひきこもり相談支援センター（相談センターpolaris）

事業実施場所 養父市八鹿町八鹿 1576

事業期間 令和2年4月1日 から 令和3年3月31日

事業内容 養父市ひきこもり相談支援センターの設置・運營業務

（1）居場所の開設（週5日）

月曜日から金曜日の週5日開設し、お一人の利用があった。その後障がいサービスを利用され、居場所の利用は終了となった。外出できそうな方には居場所を経由することなく、別の場所（趣味の会や障害サービス）を紹介している。中には、家族と一緒にジムに体力づくりのため通われたり、親戚の家に手伝いに行けるようになった方もある。

（2）電話・来所相談への対応、訪問による相談

センター開設前からの相談も多くあり、電話や来所による相談を受け、本人と家族の負担にならない程度の訪問も適宜行っている。関係者や周りからの相談があっても、本人や家族から訪問を断られることがある。

（3）家族・本人への支援

現在は、主に家族からの相談を受けることが多く、本人に会える状態になるまでに時間を要する。家族の話を聞くことで、本人の行動が変容し、趣味の会に参加できるようになられたこともあった。訪問では本人のお好きなことを確認し、それに関しての話題を提供するなど、本人との関係づくりに努めている。

（4）市の開催する学習会、家族会等への協力

新型コロナウイルス感染症感染予防のため学習会の開催は無かったが、健康課との連携を図っている。

（5）関係機関と連携し、進学・就労等の支援

養父市健康課や生活困窮の窓口との連携以外にも、県のひきこもり相談支援センター但馬ランチである、ドーナツの会とも連携している。また、相談の際に家族が介護保険を利用されているケースに関して、ケアマネジャーからの相談を受けることも多い。

早期に相談が開始できるよう、スクールソーシャルワーカーとの連携にも努めた。

（6）関係機関とのネットワーク会議の開催（年2回以上）

8/3, 3/10に開催し、養父市健康課・社会福祉課・生活困窮窓口・地域包括支援センター・学校教育課、朝来健康福祉事務所、養父市社会福祉協議会、兵庫ひきこも

り相談支援センター但馬地域ランチドーナツの会と、各関係機関の取り組みについて情報共有を行い、今後の情報共有の在り方について協議を行った。

実際の支援に関して情報共有と方向性・今後のリスクの確認の場としての個別支援会議を11/6に開催した。地域で孤立した家庭であると思っていたが、要援護者台帳に載っているなど、地域のさりげない見守りを確認できた会議となった。今後もネットワークを組んで支援が行えるよう、開催予定である。

不登校からひきこもりとなる方も多く、教育委員会との連携の重要性を感じており、3/26に健康課・社会福祉課と共に、不登校生徒のいる学校、第一学院にも参加いただき、情報共有の場をもつことができた。学校の先生方にも相談窓口などを周知することができ、今後も継続が必要と思われる。

(7) 事業目的のための啓発活動

但馬教育事務所のスクールソーシャルワーカーの見学や、社会福祉課・健康課に改めてPolarisについて説明する機会をいただいた。

養父市議会議員から、ひきこもりの方が農福連携などに参画できないかとの問い合わせがあり、意見交換を行った。

厳密には「ひきこもり」状態ではないが、生きづらさを抱えているが他に相談する場所もないといった方の相談を受けることが増えてきた。

実施内容 相談の状況(相談開始時と)

段階	相談の状況	開始時(人)	R3.3月(人)
0	周りが本人・家族に内緒で相談	12	1
1	家族が本人に内緒で相談	7	7
2	家族が本人に相談していることを伝えて相談	4	3
3	家庭訪問して家族と会う	1	
4	家庭訪問して本人の姿を見ることができる	1	1
5	家庭訪問して本人と話すことができる	4	5
6	家族と一緒に来所する	1	2
7	一人で来所する	1	1
8	来所が継続できる		
9	居場所等で他者と交流できる		2
10	就労や社会参加など自分の目標を目指して行動する		
?	不明		9

段階	本人の状況	開始時(人)	R3.3月(人)
1	自室から出ず、食事も自室で食べる	3	1
2	家族と一緒に食事を食べる	3	1
3	居間で自分の好きなことをして過ごせる	1	
4	家族と顔を合わせることができる	1	2
5	家族と会話ができる	4	3
6	自分の趣味や用事のために外出することができる	11	10
7	近隣の人が来られた時に対応ができる		4
	不明	8	10

段階	ひきこもりの開始時期	人数
1	小学校から不登校	
2	中学校から不登校	6
3	高校不登校から休学・退学	2
4	大学不登校から休学・退学	1
5	職場離脱	6
6	中学卒業後	2
7	高校卒業後	2
8	その他	9
9	不明	3

年齢層	男性	女性	不明
～18歳			2
19歳～39歳	7	9	
40歳～49歳	4	1	
50歳～64歳	4	2	
65歳以上			
不明	2		

八鹿	14	養父	6	関宮	4	大屋	3	不明	4
----	----	----	---	----	---	----	---	----	---

令和2年度 かるべの郷ホームヘルパーステーション事業報告

法令を遵守しながら、お客様のお気持ちに寄り添うサービスの提供に努めた。

お客様の健康や尊厳を守りながら、自立した在宅の生活が維持出来るように関わった。

1. サービス内容について

- ・訪問時、お客様の心身の状況を把握し、変化や気になる点等を速やかに担当ケアマネジャー、相談支援専門員、医療関係者等に情報提供し、状況に応じたサービスが提供出来る様に努めた。
- ・ヒヤリハット、苦情、事故報告等を職員間で、再発防止について速やかに検討し、支援の向上に努めた。
- ・法令を遵守し、ヘルパーとして出来る事、出来ないことを明確にし、責任を持ったケアの提供に努めた。
- ・コロナ感染症対策として手洗い、マスクの交換、消毒を細やかに行い、お客様が安心して訪問を受け入れてくださるように関わった。

2. 資質の向上について

- ・職員会議や日々のミーティングで自分達の支援を常に振り返り、改善に努めた。
- ・健康管理に留意し、職員一人一人が話し合える、風通しのよい職場づくりを心掛けた。

【研修会】

日付	研修名	場所	人数
4月30日	倫理・法令遵守について	ヘルパー事務所	11
5月27日	職業倫理について	ヘルパー事務所	11
6月30日	安全運転について	ヘルパー事務所	11
7月28日	BPSDについて	ヘルパー事務所	11
8月24日	記録について	ヘルパー事務所	11
9月21日	生活援助について	ヘルパー事務所	10
10月26日	精神疾患について	ヘルパー事務所	10
11月30日	事故発生時の対応について	ヘルパー事務所	10
12月30日	感染症について	ヘルパー事務所	10
1月26日	コミュニケーションについて	ヘルパー事務所	10
2月26日	苦情について	ヘルパー事務所	10
3月26日	ストレス解消について	ヘルパー事務所	10

3. 令和2年度利用実績

月	介 護			予 防			障 が い				合 計	加算	
	身体	身体生活	生活	訪問型 (養父)	訪問型 (朝来)	生活機能向上	身体	家事	同行援護	移動支援		初回	緊急
4	298.0	230.5	18.0	54.5	7.0	24.0	54.5	109.5	0.0	3.5	799.5	3	0
5	325.7	241.0	13.8	52.5	5.0	24.0	48.0	121.0	0.0	6.0	837.0	3	0
6	345.5	226.5	14.0	55.5	4.0	23.0	23.0	108.0	2.0	4.5	806.0	5	0
7	333.5	246.3	9.0	34.5	0.0	29.0	24.5	107.5	3.0	5.0	792.3	4	0
8	285.5	249.0	9.5	32.0	0.0	22.0	40.5	89.0	0.0	2.5	730.0	2	0
9	285.0	238.0	9.0	35.0	0.0	11.0	46.0	76.0	0.0	3.5	703.5	2	0
10	275.5	246.0	8.0	31.5	0.0	11.0	33.0	75.0	0.0	4.5	684.5	2	0
11	266.5	231.5	5.0	26.5	4.0	9.0	28.5	87.0	0.0	4.5	662.5	5	0
12	320.5	245.5	5.0	28.0	4.0	9.0	28.0	95.0	0.0	3.3	738.3	1	1
1	312.5	203.0	4.0	29.0	4.0	9.0	20.0	88.5	0.0	3.5	673.5	3	1
2	229.0	201.5	4.0	32.5	4.0	9.0	21.0	80.5	2.3	4.0	587.8	1	1
3	249.0	202.5	4.0	36.0	4.0	5.0	28.0	80.5	4.0	3.5	616.5	2	2
計	3,526.2	2,761.3	103.3	447.5	36.0	185.0	395.0	1,117.5	11.3	48.3	8,631.4	33	5

(時間数：加算は回数)

短期入所の利用や入退院などを繰り返しながら生活されているお客様が増加している。

令和2年度終了者 38 件（施設入所 8 件・死亡 11 件・中止等 19 件）

緊急事態宣言の影響もあり、同行援護の利用を希望されないことが多かった。

4. 要介護度別・障がい区分別利用者数他

介 護	事業対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
実人数	35	36	69	225	185	104	76	51	781
延件数	133	177	402	2399	1829	1455	887	250	7532

居宅介護	障がい児	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合 計
実人数	12	12	119	60	12	3	5	238
延件数	36	50	551	349	311	25	62	1,384
同行援護	障がい児	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合 計
実人数	0	0	0	0	4	0	0	4
延件数	0	0	0	0	4	0	0	4

令和2年度 かるべの郷ドリームワークス事業報告

1. 事業について

「社是」「社訓」「行動指針」に基づき、お客様、ご家族様、地域の皆様に喜んでいただけるサービスの提供に取り組んだ。お客様にとってやりがいのある仕事の場、安らげる憩いの場をいかに創っていくかを考え、安心して通所できる事業所であるように努めた。お客様が社会生活をスムーズに行えるように支援してきた。

2. 作業内容について

お客様のニーズや強みに合ったやりがいのある仕事を提供するように努めた。

外注作業では前年度に引き続き（株）ハピネス、住環境システム協同組合、（株）樽正本店、（株）羽倉、（株）ZEROに加え、ル・フルーヴの内職作業が増えた。作業内容の幅を広げたことにより、お客様の仕事に対するやりがいに繋がった。

3か月に1回評価を行い、お客様の意欲の向上に努めた。

令和2年度作業内容

分類	内容	時期等
法人内	洗車・清掃（居室等）・洗濯畳み・エアコンフィルター清掃・ 空気清浄器清掃・車いす清掃・草取り	通年
地域貢献	地域清掃	通年
養父市	養父市全天候運動場草取り	適宜
寺院関係	除草作業、墓地清掃作業	適宜
農業	露地野菜・椎茸・山椒・盆花・ハスの花・葉牡丹・肥料づくり等	適宜
販売	ドリームマルシェ フルーツの里やぶ その他外部	通年
外部	（株）西村公益社（清掃）、除草作業（公共施設、個人宅等6か所）	適宜
	墓地清掃（個人宅4か所） 清掃作業（個人宅3か所）	適宜
	（株）樽正本店養父工房（果物カット等の下処理作業、工場内作業）	適宜
	養父町開発（株）（Yタウン除草作業）	適宜
	住環境システム協同組合（レタスの水耕栽培の補助作業、山椒の収穫他）	通年
内職	（株）羽倉（ランドセル）・（株）ハピネス（腰ひも・草履清掃等） （株）ZERO（シール貼り、マスク）・ やぶパートナーズ（株）（シール貼り） ル・フルーヴ（箱折り、シール貼り）	通年
自主作品	雑貨づくり（木工細工等）	通年

3. 活動について

今年度は、1名のお客様が一般就労をされたが定着しなかった。相談支援事業所や障害者就業・生活支援センターと連携を図り、職場実習や就労面接に対する支援を行ってきた。また、他の就労移行支援事業所での就労アセスメントを活用し、自身の強みを知って頂くことで就労への意欲の向上に努めた。

コロナ禍で様々な情報が飛び交う中で、混乱されるお客様がおられた為、感染予防等の知識を持って頂けるように、新型コロナウイルス感染予防講習会の開催や特別給付金の申請の支援を行った。

令和2年度年間行事

月	内 容	月	内 容
4 月	8 周年記念・誕生会	10 月	市民ドッグ・誕生会・選挙
5 月	誕生会・消防訓練	11 月	誕生会・消防訓練・保健指導
6 月	誕生会	12 月	誕生会・クリスマス
7 月	誕生会	1 月	初詣・誕生会
8 月	誕生会	2 月	誕生会・バレンタインデー
9 月	誕生会	3 月	誕生会・ひな祭り

4. 職員の資質向上について

人間力を高め「社是」「社訓」「行動指針」に基づいた対応ができるように、週ごとに目標を立て職員一人ひとりが行動を振り返り改善できるように努めた。

5. 利用人数について

今年度は医療機関や相談支援事業所からの紹介を受け、新しく利用される方は6名だった。しかし、体調不良や家庭の事情で通所できなくなった方が7名おられた為、実績は減少している。

平均利用人数(人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間
稼働日数	22	21	22	23	21	22	22	21	22	20	20	23	259
利用者数	1,145	1,050	1,110	1,144	1,031	1,131	1,140	1,095	1,143	1,054	1,031	1,178	13,253
1 日平均	52.04	50.00	50.50	49.73	49.09	51.40	51.81	52.14	51.95	52.70	51.55	51.21	51.16

令和2年度 かるべの郷ドリーム相談所事業報告

『社是』『行動指針』『社訓』に基づき、お客様が地域で安心して生活していただけるように、状態や状況確認をしながら常に親切・丁寧・迅速な対応に努めた。

令和2年度は計画相談 108 名、障がい児相談 15 名、委託相談 35 名の依頼を受け、計 759 件(内訳 計画相談 590 件、障がい児相談 52 件、地域移行支援 38 件、地域定着支援 79 件)の給付管理を行った。

1. マネジメント内容について

今年度も前年度に引き続きモニタリングの頻度をお客様の生活の状況や環境に合わせて設定し、サービスの調整等を行った。お客様やご家族様の思いを聞き、再アセスメントすることによって、きめ細かいサービスが提供できるように努めた。

障がい福祉サービスを今後利用予定のお客様だけでなく、利用を現在考えておられない方に対しても、委託相談として相談支援を行ってきた。

一般相談支援の地域移行支援は令和2年度中に8名利用され、その内4名が退院することができた。

障がい児相談の件数は前年度に比べ大きく増加している。

2. 相談支援専門員の資質の向上について

人間力を高め、『社是』『社訓』『行動指針』に基づいた対応ができるよう、施設内外での研修にも意欲的に出席した。

毎月、但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会議に参加し、市・相談支援事業所・健康福祉事務所との情報交換やケース検討を行ってきた。

今年度も精神科病院の長期入院患者の退院促進を行う為に話合う精神障害者地域移行・地域定着戦略会議に毎月参加した。そこで健康福祉事務所と但馬にある精神科病院の相談員や看護師長と情報交換、情報共有を行うことにより但馬全体の地域移行に携わることができた。退院された方や地域で生活されている方の多くが但馬病院の訪問看護を利用されていることもあり、訪問看護師との情報交換会を開き、連携を深めることができた。

養父市自立支援協議会では全体会議、運営会議の構成員として運営や地域の実情に応じた体制の整備について協議した。部会ではしごと部会、まちづくり部会の二つの部会に所属し、それぞれの地域課題について検討してきた。

今年度は相談支援従事者に受講が義務づけられている兵庫県相談支援従事者初任者研修のファシリテーターを努め、県下の新規相談支援専門員の養成や資質の向上に寄与した。

【会議】

実施日	会議名	場所
04月08日	第1回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
05月13日	第2回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	豊岡職員福利センター
06月03日	第3回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	豊岡職員福利センター
06月19日	第1回但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会	豊岡総合庁舎
06月19日	養父市相談支援実務者会議	豊岡総合庁舎
07月01日	第4回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
07月17日	第2回但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会	養父市八鹿文化会館
07月17日	養父市相談支援実務者会議	養父市八鹿文化会館
07月21日	第1回精神障害者地域移行・地域定着推進協議会	但馬長寿の郷
08月05日	第5回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
08月21日	第3回但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会	豊岡総合庁舎
09月02日	第6回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
09月18日	第4回但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会	豊岡総合庁舎
09月30日	令和2年度養父市自立支援協議会運営会議	養父市社会福祉協議会
10月07日	第7回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
10月16日	第5回但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会	豊岡総合庁舎
10月22日	令和2年度思春期保健関係者ネットワーク会議	豊岡総合庁舎
11月04日	第8回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
11月26日	養父市自立支援協議会設立全体会	養父市八鹿公民館
11月27日	第6回但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会	養父市八鹿文化会館
11月27日	養父市相談支援実務者会議	養父市八鹿文化会館
12月02日	第9回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
12月10日	第1回養父市自立支援協議会しごと部会会議	養父市八鹿公民館
12月18日	第7回但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会	豊岡総合庁舎
12月23日	第1回養父市自立支援協議会まちづくり部会会議	養父市社会福祉協議会
01月06日	第10回 精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
01月14日	第1回第6期障がい福祉計画、第2期障がい児福祉計画策定委員会	養父市八鹿公民館
01月20日	第2回養父市自立支援協議会しごと部会会議	養父市八鹿公民館
01月22日	養父市相談支援実務者会議	養父市八鹿公民館
01月27日	第2回養父市自立支援協議会まちづくり部会会議	養父市社会福祉協議会
02月03日	第11回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
02月08日	令和2年度但馬圏域精神障害者地域移行・地域定着事業の話し合い	豊岡職員福利センター

02月17日	第3回養父市自立支援協議会しごと部会会議	養父市八鹿公民館
02月24日	第3回養父市自立支援協議会まちづくり部会会議	養父市社会福祉協議会
03月02日	養父市相談支援実務者会議	養父市八鹿公民館
03月03日	第12回精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
03月15日	令和2年度精神障害者地域移行・地域定着支援事業推進会議（振り返り会）の実施について	神戸ラッセホール
03月16日	第2回精神障害者地域移行・地域定着推進協議会	但馬長寿の郷
03月17日	第4回養父市自立支援協議会しごと部会	養父市八鹿公民館

【研修】

実施日	研修名	場所
06月04日	養父市基幹相談支援センターについて	養父市役所
11月25日	令和2年度ピアサポータースキルアップ研修	豊岡地区コミュニティセンター
11月26日	令和2年度ピアサポータースキルアップ研修	豊岡地区コミュニティセンター
02月05日	令和2年度但馬圏域相談支援・居住系福祉サービス事業所研修会（但馬圏域相談支援フォローアップ事業）	豊岡健康福祉事務所 （オンライン開催）

3. ピアサポーターの活動について

今年度も、豊岡、朝来健康福祉事務所、生活支援センターほおずき、ぷろじえくと Plus と共同でピアサポーターの養成を行った。4名の面接を行い、その内1名を雇用している。

兵庫県から委託を受け『兵庫県精神障害者地域移行推進事業』として取り組んできた。

内容としては地域移行支援を利用される前の方を対象に院内説明会、動機づけ面接、事業所体験を行う退院支援プログラムとがある。

【院内説明会】

但馬病院では各病棟を回り、自由参加型として開催してきた。参加人数も多く小グループを作り相談に乗ってきた。50名が参加し6名が退院された。

事前に撮影した養護老人ホームやグループホームの映像を紹介したり、タブレットを活用してドリームワークスと中継を行い、コロナ渦においても入院患者に対し必要な情報が行き届くように工夫をした。

【講演会・見学】

新型コロナウイルス感染症の影響もあり前年度に比べ少ない件数となった。

看護学生や但馬圏内の高校養護教諭に対しピアサポーター自身の病的体験やリカバリーストーリー、地域生活の実情等の啓発活動を行った。

【地域住民、支援者等への研修会】

実施日	講演名
05月21日	兵庫県立大学看護学部オンライン懇談
10月22日	令和2年度思春期保健関係者ネットワーク会議

【個別支援】

ピアサポーターと一緒に、地域移行支援を契約したお客様に退院支援を実施した。担当のピアサポーターが入院されているお客様を週1回訪問し、福祉サービスの見学、外出支援等お客様に必要なサービスを一緒に考え、相談に乗りながら退院に向け具体的な準備を行った。今年度11名のお客様に関わり、そのうち3名が退院された。

4. 給付管理を行った件数

(件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画相談	48	37	51	57	51	57	47	50	52	43	50	47	590
障がい児	6	3	6	4	6	6	5	4	4	5	0	3	52
地域移行	3	2	3	4	5	3	4	4	4	0	3	3	38
地域定着	7	6	7	7	6	8	7	8	6	6	6	5	79

5. 障がい別利用者人数

計画相談（給付管理を行った利用者）（人）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	重症心身障がい	障がい児	合計
利用者数	11	12	82	2	0	1	15	123

委託相談（人）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	重症心身障がい	障がい児	合計
利用者数	2	0	27	2	0	0	4	35

令和2年度 かるべの郷ドリームブリッジ事業報告

1. 事業について

令和2年4月より新規事業としてサービスを開始した。精神科病院やグループホームなどの生活を経て一人暮らしをしているお客様に対し、地域において自立した生活が送れるよう、定期的な居宅訪問や随時の対応を行い、円滑な地域生活に向けた相談・助言などを行っている。9名の地域生活支援員の内5名がピアサポーターであり自身の体験を活かしながら支援を行った。

今年度は、精神科病院から自宅へ退院したお客様やグループホームからアパートでの一人暮らしを始められたお客様8名に対し支援を行った。

但馬圏域で初めての事業という事もあり圏域内の研修会等で広く情報提供を行った。

2. サービス内容について

12か月間を目途に1週間に一度お客様の居宅を訪問し、家事、公共料金や家賃の支払い、体調や服薬状況、近隣住民との関係など、生活上の困り事の把握や確認を行い、お客様への必要な情報の提供および助言や相談を行った。また、関係機関（相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、医療機関など）との連携など、自立した日常生活を送れるよう支援を行った。

また、定期的な訪問だけではなく、利用者からの相談・要請があった場合、訪問、電話、メールなどによる随時の対応も行った。

3. 利用者人数推移

(人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	3	4	5	4	4	5	5	7	7	7	7	6	64

対象者(人)

	退所等から1年未満	退所等から1年以上
利用者数	5	3

4. 支援を行った件数

(件)

	定期訪問	同行支援	緊急時支援	合計
回数	267	114	13	394

令和2年度 かるべの郷グループホーム夢一事業報告

1. 事業について

新規のお客様が多く定員に達した為、令和2年10月にグループホーム夢三の定員を4名から7名に変更した。これまで地域資源の不足から退院を諦めていた方にも利用していただくことができた。

今年度はグループホームからアパート等への移行以外にも、一時的にご自宅での生活が困難になられた方に対し、サービスの利用を通してご自宅での生活に戻れるように支援を行った。1名がアパートでの一人暮らし、2名がご自宅に戻られ生活されている。

退院後支援を行ったピアサポーターが退院先であるグループホームへの訪問を継続し、安心して地域での生活を継続できるように支援した。

ピアサポーターの連絡会に参加し情報共有を行い、連携や協力体制の構築に努めた。

『地域の中で暮らす』ことを意識し、地域住民として地域での行事（清掃・祭り）に積極的に参加した。

2. 利用者人数推移

夢一	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約	7	7	7	8	8	8	7	8	8	8	8	8
体験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
夢二	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約	10	10	10	9	11	11	11	11	11	11	11	11
体験	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
夢三	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約	3	3	3	3	4	4	5	6	6	6	6	7
体験	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0

利用者内訳

区分	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
夢一	0	0	0	5	2	1	0
夢二	0	0	3	6	2	0	0
夢三	0	0	4	2	1	0	0

障がい種別	精神障がい	知的障がい	身体障がい
人数	22	4	0

3. 職場環境について

- ・ 人間力を高め「社是」「社訓」「行動指針」に基づいた対応ができるように、2週ごとに目標を立て職員一人ひとりが行動を振り返り改善できるように努めた。
- ・ 訪問看護等の外部サービスとも連携しお客様が安心して生活できるように支援した。
- ・ 職員同士パソコンやノートによる申し送りを行い、情報共有に努めた。
- ・ サービス内容を見直し、お客様一人一人のニーズにあった支援ができるように努めた。
- ・ 職員間でこまめに声をかけ合い不安や心配事の共有に努め、相談支援事業所等の関係機関と連携しながら問題解決を目指した。

令和2年度 かるべの郷多機能型事業所ドリームスペース事業報告

1. 事業について

就労継続支援B型事業は事業開始から3年目となり、作業内容も充実してきた。お客様にとってやりがいのある仕事と、安心して過ごしていただける環境を考え支援した。生活介護事業も2年目となり、お客様の人数も増えている中、コミュニケーションが苦手な方や大人数が苦手な方に対しても、落ち着いた空間で過ごしていただけるよう努めた。

2. サービス内容について

【就労継続支援B型事業】

施餓鬼旗・御札作り等、工程を工夫し、一つ一つ丁寧に作り上げる事で作業の精度も向上し作業依頼が増えた。また評価制度を見直し仕事の積極性や意欲の向上に繋げる事ができた。

令和2年度作業内容

分類	内容	時期等
法人内	洗車・清掃（居室・浴室等）・空気清浄器清掃・除草作業・環境消毒	通年
地域貢献	地域清掃	通年
農業	肥料づくり、除草作業	適宜
外部	除草作業（寺院3か所）・施餓鬼旗（寺院11か所）・御札作り（寺院2か所） 八鹿名店街協同組合（清掃作業）	通年

【生活介護事業】

ご自宅で入浴が困難なお客様に対しては入浴の支援を行った。また生活機能訓練として、掃除や洗濯物たたみ、食器洗い等がご自宅でもできるよう練習を行っている。

3. 活動について

感染症対策として、ハンドチェッカーを使用した手洗い講習、わかりやすいポスター掲示を行う等、日常生活の中で感染対策に気を付けていただけるよう声かけを行った。今年度より市民ドックの参加を勧め、お客様の健康維持に繋がる支援を行っている。

【就労継続支援B型事業】

作業だけではなくお客様同士の親交の場として、誕生会や季節にちなんだ行事を計画してきた。今年度は1名のお客様が就労されたが、就労後も相談や助言等を行い就労の継続につ

なごうサポートを行った。

【生活介護事業】

個々に合ったレクリエーションとして季節に合わせた壁面作りや、体力づくりを目的としたウォーキング・体操等を行ってきた。また、お客様同士で病気や悩み事を相談できる環境づくりも行っている。

4月	お花見、誕生会、壁飾り作り	10月	壁飾り作り
5月	消防訓練、壁飾り作り	11月	消防訓練、壁飾り作り
6月	クッキング、誕生会、壁飾り作り	12月	忘年会、壁飾り作り
7月	七夕、壁飾り作り	1月	初詣、壁飾り作り
8月	バーベキュー、誕生会、	2月	誕生会、壁飾り作り
9月	市民ドック、壁飾り作り	3月	ひな祭り、壁飾り作り

4. 職員の資質向上について

人間力を高め「社是」「社訓」「行動指針」に基づいた対応ができるように、週ごとに目標を立て職員一人ひとりが行動を振り返り改善できるように努めた。

5. 利用人数について

今年度は医療機関や相談支援事業所からの紹介を受け、前年度より年間利用者数は増えている。今年度は就労継続支援B型事業では5名の方が、生活介護事業では4名の方が新たに利用されている。

『平均利用人数(人)』

就労継続支援B型（定員14名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
稼働日数	22	21	22	23	21	22	22	21	22	20	20	23	259
利用者数	267	252	301	290	251	259	267	271	247	225	214	245	3,089
1日平均	12.13	12.00	13.68	12.60	11.95	11.77	12.13	12.90	11.22	11.25	10.70	10.65	11.92

生活介護（定員6名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
稼働日数	22	21	22	23	21	22	22	21	22	20	20	23	259
利用者数	121	124	119	111	123	140	137	131	145	122	109	138	1,520
1日平均	5.50	5.90	5.40	4.82	5.85	6.36	6.22	6.23	6.59	6.10	5.45	6.00	5.86

令和2年度 かるべの郷放課後等デイサービス事業報告

1. 事業について

事業開始より3年目となり、障がい児を対象とした療育を行う福祉サービスとして地域に定着してきた。お客様の健やかな発達及び自立を目指し、ご家族・学校・他機関と連携し多面的に支援を行った。また個別の療育プログラムを立て、お客様の興味を引き出すと共にご家族様の希望・要望を形にしてきた。

2. サービス内容について

- ・全身を大きく使う運動プログラム及び手先等の細かい運動の訓練を行うことにより、身体感覚の向上を目指し、支援を行った。
- ・目で見える力を高めるための訓練であるビジョントレーニングを実施した。
- ・iPadを利用し療育・学習アプリを使用した支援を行った。
- ・ソーシャルスキルトレーニングを行い、他者との関わり方を練習し学校や日常生活での困りごとの解決に向け支援を行った。
- ・コミュニケーション面で困難さをお持ちの方に対し、安心して過ごせる環境やスケジュールの設定を行った。また絵カードや写真、現物提示等わかりやすいコミュニケーション方法を模索し実践した。
- ・創作活動を通し、表現する力や感性を育んだ。
- ・個別の発達段階に沿った適切な自立課題及び活動を提供し、発達を促した。
- ・児童通所支援を対象とした自己評価結果公表にて、ご利用される全ご家庭にアンケートを実施し、サービスの評価をしていただいた上で改善案を提示・公開し取り組んだ。
- ・お客様・ご家族様・学校・他機関と情報を共有し、一体的に支援が行われるように努めた。また、進学のための面接試験対策を計画的に進め、第一志望校合格をサポートした。

令和2年度年間行事

4月	花見・鯉のぼり、かぶと制作・大規模災害時避難訓練・ミニ運動会・絵本タイム・誕生会・ダンスタイム・アスレチック遊び・季節の壁飾り作り
5月	端午の節句週間・母の日カーネーション制作・サーキット遊び・かたつむり、カエル制作・消防訓練・絵本タイム・誕生会・ダンスタイム・季節の壁飾り作り
6月	時の記念日制作・季節の制作・スタンプ遊び・しゃぼん玉遊び・虫歯予防デー(紙芝居)・サーキット遊び・絵本タイム・ダンスタイム・季節の壁飾り作り
7月	七夕飾り作り・短冊に願い事を書こう・幽霊遊び・手洗い指導(手袋シアター)・スイカ割り遊び・絵本タイム・ダンスタイム・季節の壁飾り作り

8月	夏祭り遊び・夏野菜スタンプ遊び・スイカ割り遊び・うちわ作り・絵本タイム・誕生会・ダンスタイム・季節の壁飾り作り
9月	運動会遊び・敬老の日プレゼント作り・絵本タイム・誕生会・ダンスタイム・季節の壁飾り作り
10月	ハロウィンバック制作・ハロウィン遊び（ピニャータ、仮装）・じゃんけん大会・秋の制作・誕生会・ダンスタイム・季節の壁飾り作り
11月	勤労感謝の日プレゼント制作・消防訓練・秋を見つけに行こう・ダンスタイム・季節の壁飾り作り
12月	クリスマス週間・お楽しみ会・お正月飾り作り・大掃除・誕生会・季節の壁飾り作り
1月	初詣・正月遊び週間・かるた大会・コマ回し大会・季節の壁飾り作り
2月	節分週間・鬼退治ゲーム・スライム遊び・誕生会・季節の壁飾り作り
3月	ひな祭り週間・鉄棒遊び・輪投げゲーム・誕生会・季節の壁飾り作り

3. 職員の資質向上について

人間力を高め「社是」「社訓」「行動指針」に基づいた対応ができるよう、また自己研鑽に励み専門性を身につけられるよう資格取得や研修への参加を推進した。

他の児童福祉サービス事業所を見学し、情報収集を行い、持ち帰ったアイデアを反映した。

4. 利用人数について

事業開設より3年目となり昨年度と比べ実績が増加している。特に長期休暇や土曜日・祝日といった長時間のご利用に関してのニーズが高くなっている。ご家族様からの要望を聞きつつ、お客様が楽しみながら学べるよう体験や催し・遊びの要素を設定することにより、お客様からの支持も得ている。今年度新たに8名のお客様がご利用になられ1名が卒業された。

『平均利用人数(人)』

かるべの郷放課後等デイサービス（定員10名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
稼働日数	26	24	26	26	24	26	27	24	26	24	24	27	304
利用者数	232	220	232	244	215	228	240	209	241	228	217	244	2,750
1日平均	8.92	9.16	8.92	9.38	8.95	8.76	8.88	8.70	9.26	9.50	9.04	9.03	9.04

社会福祉法人かるべの郷福祉会 令和2年度事業報告

令和3年6月発行



社会福祉法人 かるべの郷福祉会